

2022年度 法科大学院 一般入試（第3期入試）未修者 入学試験問題 （小論文方式）

試験時間 80分

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2) この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3) 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4) 解答は必ず【小論文1】の解答は【小論文1】の解答用紙に、【小論文2】の解答は【小論文2】の解答用紙に、記入してください。
- (5) 下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (6) 参照は不可となっています。
- (7) 解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (8) 試験問題の内容等について質問することはできません。
- (9) 問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (10) 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

[小論文 1]

次の文章を読み、続く問いに答えなさい。

新型コロナウイルスへの感染を免れるために都心を捨てて地方に移動する人が増えているという。この間、淡路島に移住した人の記事を新聞で読んだ。その方は、ここでは車がないと生活できないし、水道代などが結構かかると嘆いておられた。しかし、とにかくそこに住んでいられるのは幸いである。おそらくその辺りでは、人々がある程度離れて暮らしているのだろう。だからこそ、余所から来た者が楽に呼吸ができるのだと思う。

目的が何であれ、転居は各自の自由である。日本国憲法は、居住、移転の自由を保障している。あなたもわたしも、日本のどこに住んでもいいわけだ。ただし、実際にそこで過ごしていけるかどうかは別問題である。それは寒いか暑いかという問題ではなく、仕事があるかないかという問題でもない。その方面の障害はないとしたうえで、精神的な苦痛を感じることなく暮らしていけるかどうかという問題である。

わたしは海のない県の田舎で育ったが、高校入学の時点で生家を出て下宿生活をした。大学は縁もゆかりもない関西へ。学生時代と最初の勤めの時代と合わせて19年の月日を神戸ないしその近辺で過ごした。それから東の港町である横浜に移ってかれこれ30年。田舎を出てから、もう50年を過ぎている。その間の生活は、良かれ悪しかれ、都市の生活であった。その間、生家の近辺は、もちろん代替わりは進んだはずだが、隣近所の構成と昔ながらの付き合いはほとんど変わっていないと聞いている。

そんなわたしだから、ふるさとに戻って余生を過ごすというプランにはあまり気乗りがしない。もし生家方面に戻るとすれば、少なくとも生家付近に居を構えるのは避けたいところだ。ちょっと離れた街に住処を見つけたい⁽¹⁾。中学生のときにバスでずいぶん時間をかけて学習参考書を買った街である。昔は遠いところであった。

話が私事に逸れてしまった。本来書きたかったのは、全国を見渡せば、もっともっと濃密な生活空間⁽²⁾がまだ確実に残っているということである。そのような場所では、新参者はなかなか近所との付き合いに馴染めないだろう。当地の出身者であればふるさとへのUターンということになるが、それが許されるとは限らない。むしろ一旦土地を捨てた人間の心変わりと扱われて村八分に遭うおそれすらある。そんなことになったら裁判所に訴えればいいと言う人もいるだろう。たしかに、裁判所が損害賠償を認めてくれることは期待してもよい。しかし、それで事態は改善されるだろうか。以前にも増して住み辛くなるのではないか。

問1 著者（この文章を書いた人）が下線部(1)のような希望をもつのはなぜだろうか。
あなたの考えを500字程度で記しなさい。

問2 著者は下線部(2)の「もっともっと濃密な生活空間」という表現にどういう意味を
込めているのだろうか。あなたの考えを500字程度で記しなさい。

[小論文 2]

下記の【課題文】を読み、その内容を踏まえた上で、【問 1】から【問 4】までの問いに答えなさい。

解答は、解答用紙 [小論文 2] に記入してください。[小論文 2] では、字数指定はありません。

解答の際には問いの番号を明記して解答してください。

【課題文】

<省略>

<社説 毎日新聞 2021 年 9 月 2 日より>

【問 1】 (10 点)

コロナ禍で懸念される複合災害とは何か。また、それはどのようにして起こるのか、説明してください。

【問 2】 (10 点)

コロナ禍で懸念される複合災害を防ぐためにはどのような対策が必要となるか、説明してください。

【問 3】 (10 点)

コロナ禍で懸念される複合災害を防ぐために必要となる対策にはどのような問題があるか、説明してください。

【問 4】 (20 点)

コロナ禍で懸念される複合災害を防ぐために必要となる対策にある問題を解決するための対処法をまとめた上で、あなたの見解を記載してください。